

会計別の予算額

| 区分 | 予算額 |
|---------|------------|
| 総額 | 84億9,231万円 |
| 一般会計 | 60億5,027万円 |
| 特別会計 | 20億2,028万円 |
| 水道収益的支出 | 3億2,757万円 |
| 水道資本的支出 | 9,419万円 |

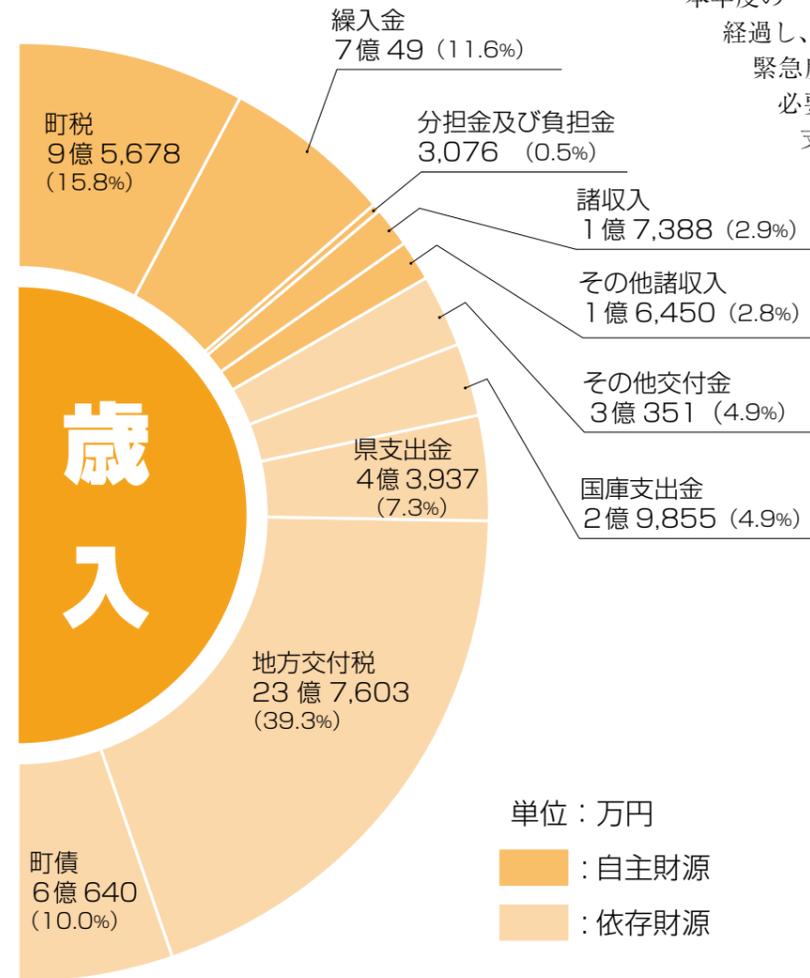
| 区分 | 予算額 |
|-------------|------------|
| 国民健康保険 | 14億2,227万円 |
| 後期高齢者医療 | 3億21万円 |
| 診療所事業 | 9,700万円 |
| 井内地域開発事業 | 167万円 |
| 町営浄化槽整備推進事業 | 1億9,913万円 |

令和2年度一般会計当初予算額は

60億5,027万円

令和2年度当初予算が第1回町議会定例会で可決されました。本年度の一般会計当初予算については、町村合併後14年が経過し、財政状況が一段と厳しさを増す中で、重要度や緊急度が特に高いもの、地域からのご要望に必要に応じて必要があるものなどを選択するなど、可能な限り支出の削減に努め、町債については、町にとって財政的に有利な地方債を優先的に充当して、将来への負担軽減を図るなど、安定した財政運営と事業の円滑な推進を見据えた予算編成となっており、前年度の当初予算と比較して1億7,582万円減の60億5,027万円となっています。

では、今年度の予算の使いみちについて、歳入歳出別にみてみましょう。(予算額は、1万円未満を四捨五入しています。)



歳入

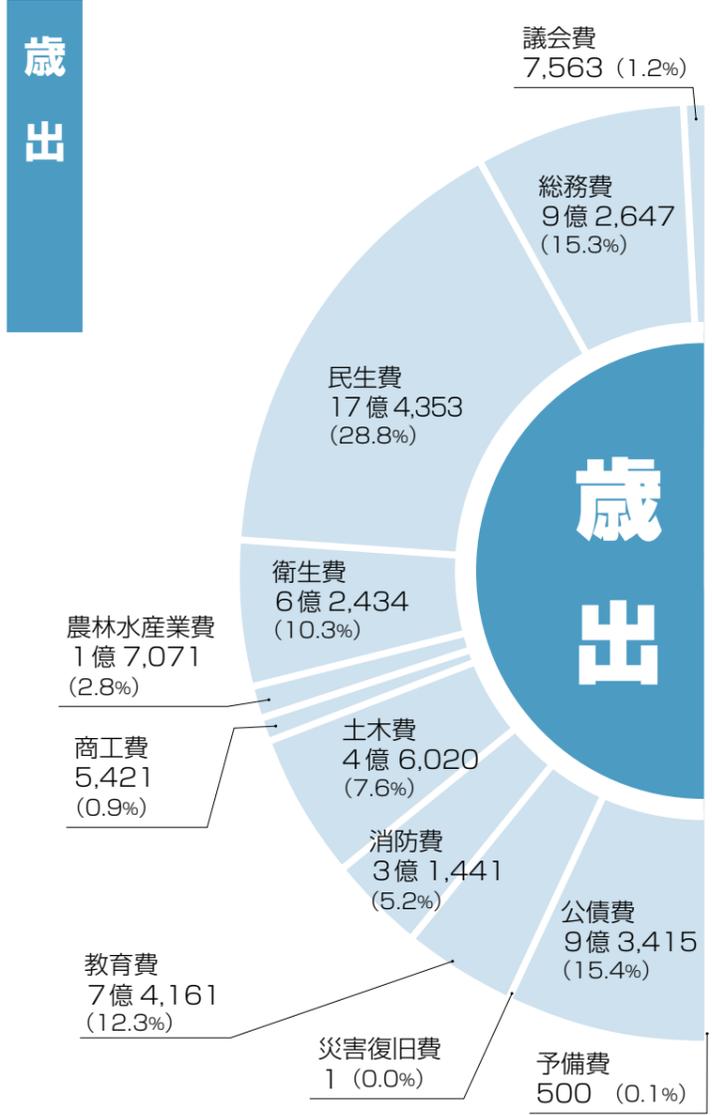
町債は2億3,980万円の減

町が自主的に収入することができる財源のうち、町税収入(町民税・固定資産税・軽自動車税・町たばこ税)は前年度比1.6%増の9億5,678万円。また、

特別会計・基金からの繰入金、財政調整基金からの繰入額の増などで前年度比4.3%増の7億4,900万円。ほか繰越金や保育料などの分担金及び負担金を加えた自主財源は、全体の33.6%にあたる20億2,641万円となっています。

一方、地方交付税、国庫支出金、町債などにより、その調達を国や県などに依存している依存財源は40億2,386万円と全体の66.4%を占めています。

さまざまな町づくりに使われる地方交付税は、前年度比2.7%増の23億7,603万円。一定の事業などにに対し、国や県から補助金や負担金として支払われる国庫支出金は、前年度比9.1%減の7億3,792万円。町が行う事業や地方交付税の不足分などを補う財源として借りる町債は、前年度比28.3%減の6億6,640万円となっています。



教育費は2億8,104万円の増

令和2年度当初の一般会計歳出予算は、図書館移転改修工事などが控える教育費が前年度に比べ61.0%の増となっており、前年度に大型事業を行った消防費が23.4%の減、同じく民生費が11.2%の減となっております。

◆総務費

町長や総務課、企画調整課などの職員の給与や庁舎の管理、交通安全、防犯対策、選挙、町民バスの運行など

◆民生費

児童や高齢者、障がい者の方たちへの福祉事業や保育所の運営、国民健康保険特別会計などへの繰出金や福祉課や保育所の職員の給与など

【今年度事業】
 鵜殿保育所建替事業(設計委託料等)：6,930万円

◆衛生費

ごみ処理やし尿処理などの環境に対する経費や、病気を予防するための検診などの健康づくりに対する経費など

◆農林水産業費

農地等の利用関係の調整などを行う農業委員会委員への報酬、農道や林道の新設・修繕など

◆商工費

商工業や観光の振興、ウミガメ公園や飛雪の滝キャンプ場の管理など

◆土木費

道路の維持補修や、港湾や輪中堤、防潮水門の管理など

【今年度事業】

町道相野口永田線改良事業をはじめとした道整備交付金事業費：1億4,500万円

◆消防費

消防団活動や熊野市に委託している広域消防の分担金、防災対策事業への経費など

◆教育費

幼稚園や小学校、中学校の運営やまなびの郷、図書館などの教育施設の管理・運営、教育委員会職員の給与、文化活動やスポーツの振興など

【今年度事業】

図書館移転改修事業
 2億3,422万円

◆公債費

事業を進めるため、借り入れた町債を返済するための経費